

インタビュー

本はこどものたからもの

ほんごう子ども図書館へ寄せる思い

公設民営というユニークな子ども図書館として全国的にも知られるようになりました。ボランティアとして支えてくださっている方々、これを背後から支援いただいた市長さんをはじめ、行政のご配慮に感謝しています。

読書の魅力とは

本は こどものたからもの おもしろくて たのしくて わくわくする はらはらする もういっぺん もういっぺん なんべん よんでも たいくつしない おまけに とても かしくなる (なかがわ えりこ 作)

※傍点部は大田さんにより作成。

何よりも、かによりも、楽しむことが第一です。そのおつりでかしくもなりましょう。

三原市民の皆さんへのメッセージ

子どもたちはみんなのもの。お年寄りのみなさんもみんなのもの。一人ひとりをみんなで大切にしましょう。人と人、人と自然が共生する社会、身近な自然にも身体でふられる社会、それが私のなつかしい故郷でありつづけますように祈っています。



三原市名誉市民 大田 堯 さん

【主な略歴】 大正 7 年 本郷町船木で生まれる 昭和 40 年 東京大学教授に就任 昭和 43 年 東京大学教育学部長に就任 昭和 52 年 都留文科大学学長に就任(2期6年) 昭和 54 年 日本教育学会会長に就任 昭和 62 年 日本子どもを守る会会長を歴任

10年くらい前から利用しています。時には、友達との合流場所にもなっています。本を読みたいとき、ほかの図書館だと、静かにしないといけません、こ



千日 学さん、光珠さん、瑞穂さん、美祝さん、大和さん

利用者の声 Voice

自由に過ごせる空間



山崎 千加子さん、美空さん、完平太さん

ここでは、自由に過ごすことができます。それが何より助かっています。いろいろな本の巡り合い 子どもが小さいころからよく利用しています。いろいろな本に巡り合えてとてもよかったです。お母さん同士で話をしたり、子ども同士で遊んだり、毎回楽しく過ごしています。

子ども図書館で借りてきた本を、夜に子どもに読んであげています。本を読み出してから、子どもも精神的にリラックスできています。絵本は、私自身も好きだし、子どもにもできれば一生大事にしてほしいと思っています。これからのたくさんの絵本を借りたいと思います。



角広貴美さん、陸さん

一生大事にしてほしい

●ほんごう子ども図書館 開館時間 10時～17時 休館日 木・日曜日、祝日、年末年始 貸出冊数 一人3冊まで 貸出期間 2週間 所在地 本郷南六丁目21番37号 問い合わせ先 ほんごう子ども図書館(☎0848・86・6066)



Readers' charm ~ October 27th ~ November 9th is Reading Week ~ Includes photo of a reading session and text about the library's activities and awards.

- 設立の経緯 平成12年6月 本郷町船木出身で、東京大学名誉教授の大田 堯さん(三原市名誉市民)から、JR本郷駅前の所有地と蔵書(1,500冊)の寄附の申し入れがある同年8月 地元有志で設立の会(後の運営準備委員会)が結成される 平成13年7月8日 ほんごう子ども図書館オープン ●運営内容 本の貸し出し おはなし会(毎月第1火曜日10時30分～11時、毎月第2・4土曜日14時～14時30分) 季節のイベント など ※おはなし会については、要望に応じて随時開催しています。 ●さまざまな人や本との触れ合い 12人の運営委員と13人のボランティアアスタップで運営されているほんごう子ども図書館。おはなし会などを通じて、子どもたちがさまざまな本や人と触れ合うことができる空間となっています。

にんぎょうげきや「ぷか」による人形劇 親子で人形劇を観て、みんな笑顔 とき 25日(日)10時～ ところ 本郷生涯学習センター 内容 手作り絵本の展示・読み語り、パネルシアター、人形劇「おおきなカブ」・「ねずみのすもう」 対象 小学生以下とその保護者 参加費 無料 問い合わせ先 ほんごう子ども図書館(☎0848・86・6066)

「親子でくつろぐ姿が活動のエネルギー」と、重田正行館長は顔をほころばせました。仕事の合間をぬってボランティアに携わる人も多く、運営での苦労もありますが、「地域の皆さんに愛される図書館であり続けたい」と、今後の思いを語ってくれました。

本でつながる人と人の輪 ほんごう子ども図書館



お問い合わせ先

●本郷図書館

ビデオ・パソコンコーナーを備え、開放感があり、子どもから大人まで使いやすい施設です。
開館時間 10時～18時
休館日 火曜日、祝日、12月28日～1月4日

所在地 本郷南六丁目25番1号(本郷生涯学習センター1階)

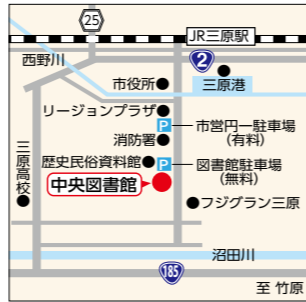


本郷図書館 (☎0848・85・0703)

●中央図書館

重要文化財の古文書から話題の新刊まで、豊富な資料をそろえています。
開館時間 月～金曜日 9時30分～19時、土・日曜日 9時30分～18時15分

休館日 祝日、12月28日～1月4日
所在地 円一町二丁目3番3号



中央図書館 (☎0848・62・3225)

●大和図書館

蔵書の半分は児童書で、読む人を育てる図書館をめざす小さな図書館です。
開館時間 10時～18時
休館日 火曜日、祝日、12月28日～1月4日

所在地 大和町下徳良111番地(大和文化センター1階)

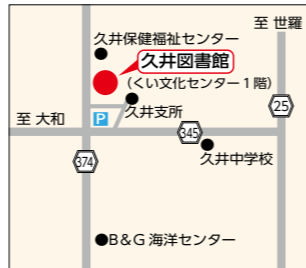


大和図書館 (☎0847・33・1115)

●久井図書館

さわやかな高原の中で、自然の力強さと水・光をイメージした外観の優しさあふれる図書館です。
開館時間 10時～18時
休館日 火曜日、祝日、12月28日～1月4日

所在地 久井町和草1883番地6(くい文化センター1階)



久井図書館 (☎0847・32・7138)

予約図書ベスト5

タイトル	著者
1 ナミヤ雑貨店の奇蹟	東野圭吾
2 三匹のおっさん ふたたび	有川浩
3 舟を編む	三浦しをん
4 虚像の道化師(ガリレオ7)	東野圭吾
5 サファイア	湊かなえ

(児童書) (9月28日 現在)

タイトル	作者
1 ココロ屋	梨屋 アリエ
2 カモのきょうだいクリとゴマ	なかがわ ちひろ
3 こびとづかん(POST CARD BOOK)	なばたとしたか
4 心の森	小手鞠 るい
5 ここがわたしのうちです	アイリーン・スピネリ



▲10分間行われる朝読書のようす



▲各学年の教室に授業と関連のある図書を展示(写真左) 階段の踊り場の図書紹介コーナー(写真右)

「自分の世界が広がり、心が豊かになるだけでなく、活字に慣れるなど学力の基盤にもなる」と読書の意義を語る杉原しのお教頭。
 たくさん読む、よりよく読む、環境の整備の3つをテーマに、読書活動に取り組んでいる榎梨小学校。週4回の朝読書や図書館司書などによる読み聞かせ、1年間に読む本の冊数を決める読書チャレンジなど、年間を通じて読書活動を推進しています。

●随所に本に親しむ工夫
 階段の踊り場には、地域で製作した図書紹介コーナーが設けられ、各学年の教室内には、授業に関連した図書を展示するなど、本に親しむ工夫が随所に見られます。
 同小5年の橋本悠史さんは、「植物や宇宙の本が好きです。いろいろなことが分かるし、知らなかったことが学べて楽しい」と読書に対する感想を話していました。

文部科学大臣から表彰

子どもの読書活動に対して優れた取り組みなどを行なっている学校や図書館、団体などを表彰する制度が平成14年度に創設されました。
 今年度は全国で、ほんごう子ども図書館と榎梨小学校を含む小・中学校、高等学校など137校、図書館47館、51の団体などが受賞しました。
 過去5年間に、本市の関係では、平成20年度に和木小学校が、平成22年度に大草小学校が受賞しています。



▲受賞の喜びを五藤市長へ報告する、ほんごう子ども図書館と榎梨小学校の関係者の皆さん

豊かな心・学びの基盤 榎梨小学校



読み語りボランティアの技術向上へ



▲読み読みの実践を行う受講者

小学校や図書館などで読み語りをしている人を対象に、その技術を高めるための講座が開催されました。東広島市読書活動推進員の坂本美智恵さんを講師に行われたこの講座。全4回の講座で、読み語りをするときのポイントやおすすめの本などの紹介、実践学習などがあり、30人が受講しました。
 参加した西原庸子さん(本郷北三丁目)は、「年齢に応じて本を選ぶことの大切さを学びました。これからも子どもたちに、たくさん本を紹介していきたいです」と今後の活動を見据えています。